

「地域の中核、世界の人材」 UNIVERSITY OF YAMANASHI

山梨大学広報[ヴァイン]

December 2011 vol.15

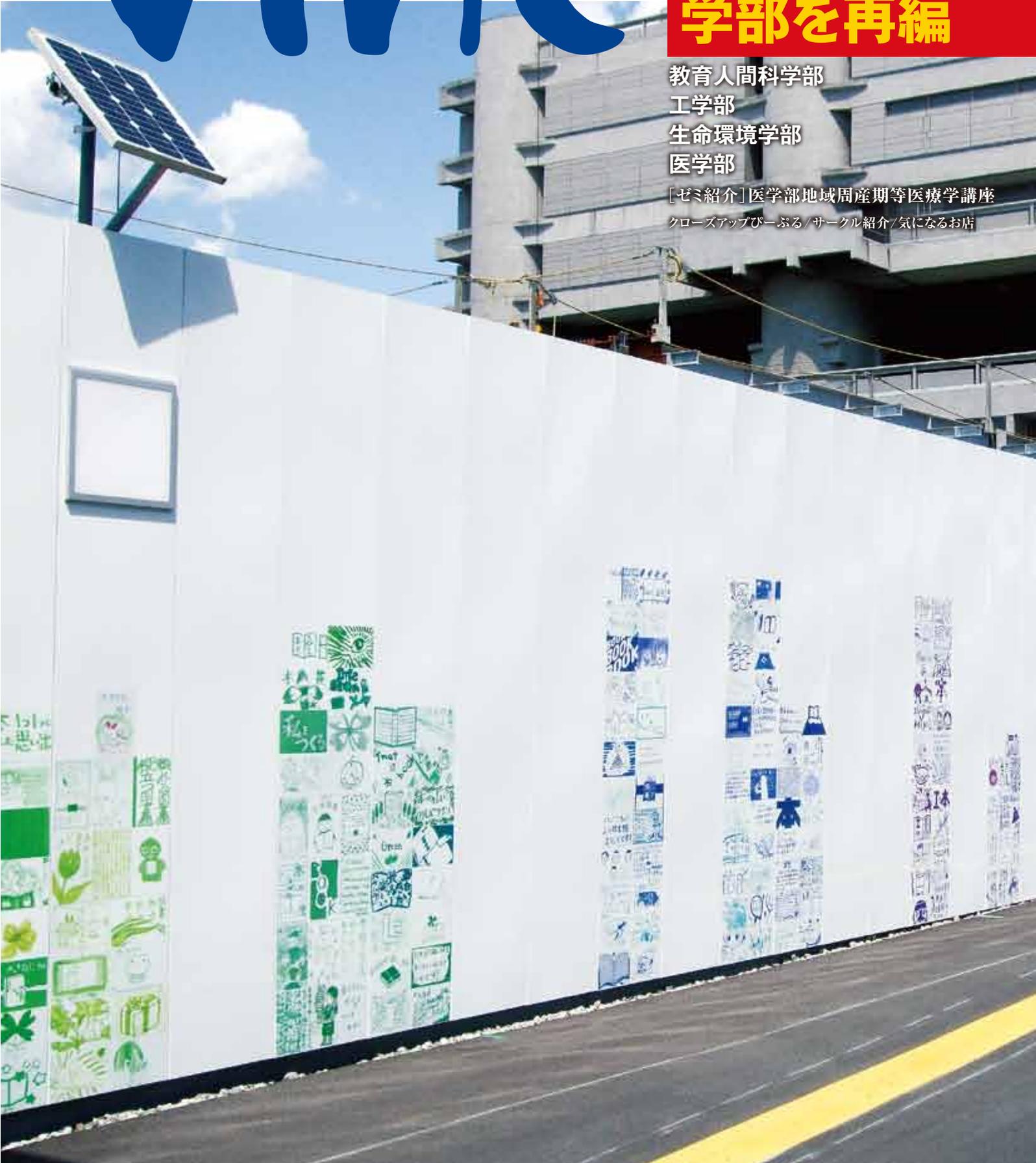
Vine

2012年4月
NEW山梨大学始まる…

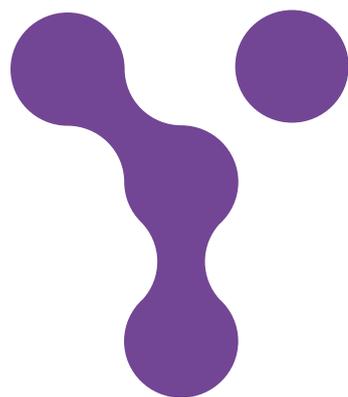
**新たな歩みで
学部を再編**

教育人間科学部
工学部
生命環境学部
医学部

[ゼミ紹介] 医学部地域周産期等医療学講座
クローズアップびーふる / サークル紹介 / 気になるお店



2012年4月 **NEW**山梨大学始まる…



新たな歩みで 学部を再編

山梨大学は、平成24年4月、既存の教育人間科学部と工学部を改組、
新学部(生命環境学部)を設置し、医学部を含む4学部でスタートします。

教育人間科学部は、教育の現代的課題に対応する実践的指導力をもつ教師を育成する「学校教育課程」、
芸術とスポーツ健康科学分野で生涯学習を担う専門家を育成する「生涯学習課程」の2課程で構成されます。

工学部は、機械、電気電子、情報機器・ロボットなどにかかわる工学、それらに関連した材料開発やソフトウェアにかかわる工学、
及び社会基盤に関する工学の教育研究を行う7学科で編成されます。

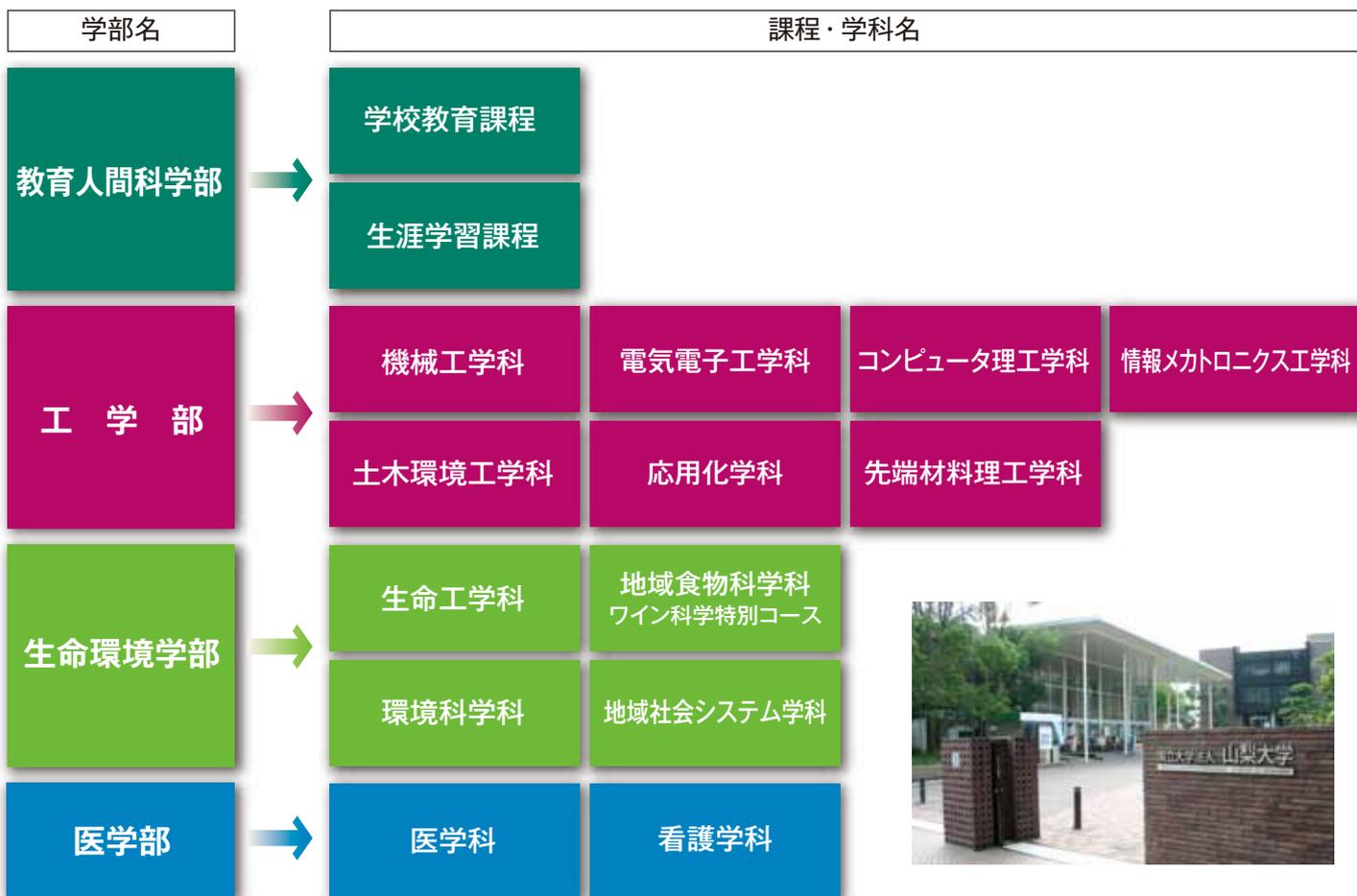
新学部(生命環境学部)は、「生命・食・環境・経営」に関する実践教育により、
広範な知識を統合して、自然との共生可能な豊かな地域社会を実現するための課題を
提起・解決できる能力をもった農学系、社会科学系人材を育成するため、4学科を設置します。

医学部は、従来どおり、医の倫理を身に付け、

科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備えた医療人や国際的研究者を育成します。

これらの改組、新設によって以前にも増して、より体系的で充実した教育研究を行うことができるようになるものと期待されます。

今後、大学院組織の改編により、医学、工学、農学が融合した教育研究体制の充実を図っていきます。





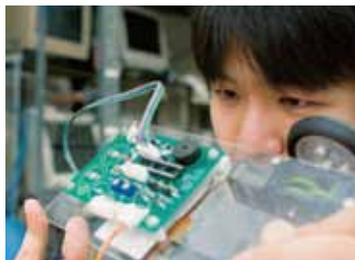
人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人を育成します。

学校教育課程は、幼小発達教育コース、障害児教育コース、言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コースから成ります。人間の発達と文化に関する幅広い視野と豊かな人間性をもち、子ども理解と教職・教科に関する専門的知識・技能の基本を身につけた、探求心溢れる教育人を養成します。

生涯学習課程は、芸術運営コースとスポーツ健康科学コースから成ります。芸術文化分野での生涯学習支援や身体健康分野での健康長寿社会の実現など生涯学習を担う教育的視野をもった、学芸員、アーツマネージャー、企業メセナ担当者や各種団体の資格を有したスポーツ健康運動指導者などの人材を養成します。

課程・コース(定員) ※平成24年4月の入学生から		主な教育内容	活躍できる分野・進路	取得可能な資格
学 校 教 育 課 程 (125)	幼小発達教育 コース (20)	心理学、教育学、そして幼児教育学を同時に学ぶことができるのがこのコースの特徴です。発達・教育についての深い識見や柔軟な考え方を身につけることによって、「小1プロブレム」など、今日的な教育課題に真正面から向き合い、その解決に向けて幅広い視野から挑戦している実践的能力の育成を目指しています。	小学校の教員／幼稚園の教員／教育・福祉関係の公務員など	小学校教諭1種免許、幼稚園教諭1種免許
	障害児教育 コース (20)	障害を有するあらゆる子どもの多様な発達を支援できる教員の育成を目指します。専門科目では、知的障害を中心に、肢体不自由、病弱、視覚障害、聴覚障害、重複障害、その他特別な支援を必要とする子どもとその支援のあり方について、心理学的視点、教育学的視点、生理学的視点から学び、考えていきます。	特別支援学校の教員／小学校の教員 など	特別支援学校教諭1種免許、小学校教諭1種免許
	言語教育 コース (15)	人間の思考、表現、コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う人材を養成します。国語教育系では、国語科教育学、日本語学、日本文学、漢文学、書写・書道、日本語教育など、英語教育系では、英語教育学、英語学、英米文学、コミュニケーション、異文化理解など、それぞれ幅広い分野の専門的教育・研究を行います。	小学校の教員／中学校・高等学校の国語・英語の教員 など	小学校教諭1種免許、中学校教諭1種免許(国語科、英語科)、高等学校教諭1種免許(国語科、英語科)
	生活社会教育 コース (22)	人間生活とその基盤となる豊かな人間社会を創造していくための教養と実践的指導力をもつ教員を養成します。社会科教育系では法律政治・社会経済・哲学倫理・歴史・地理及び社会科教育、家政教育系では食物・被服・住居・保育・家庭経営及び家庭科教育の諸領域について総合的に探究します。	小学校の教員／中学校・高等学校の社会科・家庭科の教員 など	小学校教諭1種免許、中学校教諭1種免許(社会科、家庭科)、高等学校教諭1種免許(地理歴史科、公民科、家庭科)
	科学教育 コース (28)	自然科学を理解するための総合的視野と、深い専門知識を持った理数系教員の養成を目指します。数学系では、数学的見方と考え方を養い、実践力を培います。理科系では、実験や演習、野外や臨海等での実習を通して、理科教員に必要な資質と能力を磨きます。技術系では、「ものづくり」の技術と精神を学びます	小学校の教員／中学校・高等学校の数学・理科の教員／中学校の技術の教員 など	小学校教諭1種免許、中学校教諭1種免許(数学科、理科、技術科)、高等学校教諭1種免許(数学科、理科)
	芸術身体教育 コース (20)	人間の根源的営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化や身心の発育・発達に関する内容を専門的かつ実践的に学びます。音楽系・美術系では「感じる・表現する・創作する喜び」を子どもたちと分かち合い、保健体育系では「からだところの健康」を子どもたちとともに育む教員を目指します。	小学校の教員／中学校・高等学校の音楽・美術・保健体育の教員 など	小学校教諭1種免許、中学校教諭1種免許(音楽科、美術科、保健体育科)、高等学校教諭1種免許(音楽科、美術科、保健体育科)
生涯学習課程 (20)	芸術運営 コース (10)	国立大学で初めて設置された芸術運営(アーツ・マネジメント)の担当者を養成するコースです。芸術や文化に関する幅広い知識や技能と生涯学習の支援者としての専門的知識を習得した上で、文化芸術活動や地域まちづくりの場面における企画、運営、教育普及などに関する実践的能力の育成を目指します。	博物館の学芸員／音楽ホール職員／生涯学習・社会教育担当公務員／芸術文化団体職員／中学校・高等学校の音楽・美術の教員 など	学芸員、社会教育主事、中学校教諭1種免許(音楽科、美術科)、高等学校教諭1種免許(音楽科、美術科)
	スポーツ健康科学 コース (10)	健康長寿社会の実現に向け、スポーツの有する多様な意義や価値について、理論と実践を通して学びます。人間のこころとからだの奥深さを理解した上で、地域と協働して人々を健康で質の高い人生へと積極的に先導するために必要な、スポーツ科学と健康科学に関する専門的知識・技能の習得を目指していきます。	スポーツ関連企業／各自治体の体育協会等／フィットネス業界／中学校・高等学校の保健体育の教員／公務員(警察官・消防士) など	スポーツプログラマー、ジュニアスポーツ指導員、健康運動指導士、健康運動実践指導者、サッカー・キッズリーダー、サッカー・C級コーチ、中学校教諭1種免許(保健体育科)、高等学校教諭1種免許(保健体育科)

学校教育課程の四つのコース(言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コース)においては、入学時には、コース毎に一括して入学者を決定しますが、1年次終了時に、各自が取得を希望する主たる教員免許の教科に応じて、履修する系を選択します。



工業技術の発展と社会のニーズの変化に対応すべく、工学部は、機械、電気電子、情報機器・ロボットなどの技術に関わる工学、それらに用いられる材料開発にかかわる工学、社会基盤に関する工学、及び工学的システム全体にかかわるソフトウェアに関する工学の教育研究を行う7学科に編成しスタートします。

専門技術を身につけるために必要な数学・物理などの工学基礎科目を学び、コミュニケーション能力・専門英語能力養成科目とエンジニアリングデザイン能力(問題設定力・構想力・創造性、種々の学問・技術の統合化・応用能力等)を養う授業科目を系統的かつ効果的に履修できます。この充実した教育により、社会的な課題に対応でき、産業界の期待に応えることのできる実践的能力を身につけた「優れたエンジニア」を養成します。

学科(定員) ※平成24年4月の入学生から	主な教育内容	活躍できる分野・進路	取得可能な資格
機械工学科 (55)	ものづくり技術の根幹をなす機械工学の基盤知識を修得するための「機械力学・制御」、「熱・流動」、「設計・生産」、「材料・構造」に関する基礎科目に加え、航空宇宙、医療・福祉機器、エネルギー分野の先端技術に関する応用科目を充実することで、機械技術者として国際的にも活躍できる人材を養う教育を行っています。	自動車、鉄道、航空機、船舶等の輸送機械/医療・福祉機器などに関連した工学分野/太陽・地熱・水力・風力等の自然エネルギー及び原子力・火力等のエネルギー産業/公務員/大学院進学 など	高等学校教諭一種免許状(工業)/自動車整備士 ※上記には、実務経験を経て受験資格が得られるもの、一次試験が免除されるもの等を含みます。
電気電子工学科 (55)	人々の生活を便利で快適にする最先端の電子材料・素子・機器からインターネットのような全世界をまたぐ高速・大容量通信システムまで電気電子工学全般を網羅した教育・研究を行い、地球環境や社会との調和を常に意識しながら電気電子工学技術の継続的発展に寄与できる広範な能力を備えた電気電子工学分野のエンジニアを育成します。	電子デバイス・機器/情報端末機器/医療機器/自動車/鉄道等の交通機関/情報通信システム/電力供給/公務員/大学院進学など	高等学校教諭一種免許状(工業)/電気主任技術者/第一級陸上特殊無線技士/第二級海上特殊無線技士 ※上記には、実務経験を経て受験資格が得られるもの、一次試験が免除されるもの等を含みます。
コンピュータ理工学科 (55)	現代社会の中核を支える情報科学と基盤技術が学べます。次世代WEBサービスの設計開発や最先端マルチメディアコンテンツの製作、情報ネットワークシステムの開発・運用などができるようになります。また感性情報や組み込みシステムなど次世代の高度情報化社会を支える科学と技術を学ぶことができます。	情報機器やソフトウェアの開発・運用管理/マルチメディアコンテンツなどの製作・運用/情報・通信系のサービス処理会社/自動車や電機などの製造業/官庁・企業の情報システム運用管理部門/大学院進学 など	高等学校教諭一種免許状(数学・情報)
情報メカトロニクス工学科 (55)	家電製品や自動車はコンピュータ制御で動いています。このような製品を多くの技術者と協働して設計開発するために必要な、機械、電気、コンピュータの統合的な知識と技術、協働開発に必要なスキル、開発工程全体を見渡す能力を身につけることができます。	自動車/コンピュータ/ロボット/産業ロボット/生産機械/AV機器/情報端末機器/家庭電気製品/ネットワーク/輸送機器/医療機器/福祉機器/農業機械/建設機械/大学院進学 など	高等学校教諭一種免許状(工業)
土木環境工学科 (55)	土木工学と環境工学に関する広い基礎知識・技術を併せ持ち、環境と調和した社会基盤の整備・管理、災害に強い安全な国・地域づくり、快適で環境に配慮したまちづくり、生活環境の充実、自然環境の保全など持続可能な社会基盤の構築に貢献するエンジニアを養成します。	公務員(土木環境技術系)/建設・道路/設計コンサルタント/環境コンサルタント/鉄道・高速道路/環境設備製造・維持管理/NPO/工業高校教員/大学院進学 など	高等学校教諭一種免許状(工業)/測量士/測量士補 ※上記には、実務経験を経て受験資格が得られるもの、一次試験が免除されるもの等を含みます。
応用化学科 (55)	安全・安心で快適さを保ちつつ低環境負荷社会を実現する高機能液晶・高分子・セラミックス等の材料の開発と評価・解析分野、燃料電池・光触媒・太陽電池等のクリーンエネルギー分野等で活躍する専門技術者を養成します。物理化学、無機化学、有機化学、分析化学等の講義と実験により専門知識と問題解決能力を身に付けます。	材料・化学メーカー/電気・電子/機械/自動車/石油/製薬/食品/化粧品/装置製造産業/環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測技術開発/高校教員(理科)/大学院進学 など	高等学校教諭一種免許状(理科)/毒物劇物取扱責任者/危険物取扱者(甲種) ※上記には、実務経験を経て受験資格が得られるもの、一次試験が免除されるもの等を含みます。
先端材料理工学科 (35)	原子・分子の科学や、それらの集まった物質において多様な性質が現出することの仕組みを理解するための科学と、それらを探索、制御する技術を学ぶことにより、ハイテク機器に欠かせない先端材料の開発を行える能力を身につけることができます。	先端電子デバイス/新機能を有する素材開発/医療機器/先端計測装置等の開発研究を行う企業/普通科高校(数学・理科)/大学院進学 など	高等学校教諭一種免許状(理科・数学)/危険物取扱者(甲種) ※上記には、実務経験を経て受験資格が得られるもの、一次試験が免除されるもの等を含みます。

工学部では、工学基礎力充実のための学習支援室(フィロス)を設置しています。「フィロス」は、「予習・復習は大学で」を試みたい学生が一人二人と気軽に集まり学習交流を推進する場です。勉強が進んでいる学生は、友人にアドバイスすることにより自分の理解をいっそう深めるための場で、数学および物理の教員が常駐して学習を支援しています。

また、幅広い学際的知識を養う学科横断的な授業科目として、例えば「PBLものづくり実践ゼミ」では、実社会で求められる問題解決能力と自律的学習能力そしてチームワーク力を備えた技術者になるため、異なる学科の学生6~7人が1チームとなって与えられた課題の解決に取り組み、企画力・提案力・協調性等を育てています。さらに、学科毎に「エンジニアリングデザイン能力養成科目」を新設します。



新設する生命環境学部では、「持続的な食料の生産と供給による地域社会の繁栄を実現するために必要となる、生命科学、食物生産・加工、環境・エネルギー、地域経済・企業経営・行政に関し広い視野を持つ人材を、自然と社会の共生科学に基づき養成する」ことを基本理念とします。

本学部は、最先端のバイオサイエンスを学ぶ生命工学科、食物科学や農学の専門知識・技術を学ぶ地域食物科学科、自然環境の調査・評価・管理能力を育成する環境科学科、および地域社会のマネジメントに関する専門知識を習得する地域社会システム学科で構成されます。これらの4学科では、学科横断的な教育体制のもと、自然との共生可能な豊かな地域社会を実現するための課題を提起・解決できる能力をもった人材を養成します。

学科(定員) ※平成24年4月の入学生から	主な教育内容	活躍できる分野・進路	取得可能な資格
生命工学科 (35)	生物資源として微生物、動植物を対象とし、新規生物資源を探索するとともに、それらの多様な構造と機能を生体物質化学、生化学、構造生物学、遺伝子工学等の立場から教育します。そして、食料生産、健康増進、老化防止、再生可能エネルギー、環境保全、及び食の安全に関わる技術を創出するための教育・研究を展開します。さらに、生命工学としての特徴をより鮮明に打ち出すため、植物バイオ、ゲノミクス及びタンパク質構造解析(バイオインフォマティクス)に関する教育を取り入れるとともに、多能性幹細胞(iPS細胞やES細胞)の分化誘導技術やクローン技術に関して生物工学的見地から教育と研究を行います。	食品系製造業(食料・飲料・醸造等)/化学系製造業(医薬・化粧品・香料)/医療系産業(機器・分析など)/学術・研究開発/環境産業(廃水処理・環境分析)/農業関係法人(JAなど)/地方公務員/国家公務員/高等学校教員(理科)など	危険物取扱者(甲種)/第一種衛生管理者/作業環境測定士/毒物劇物取扱責任者/上級バイオ技術者/生殖補助医療胚培養士/技術士/技術士補/高等学校教諭普通免許状(理科)など ※上記には、実務経験を経て受験資格が得られるもの、一次試験が免除されるもの等を含みます。
地域食物科学科 (30) ワイン科学特別コース (6)を含む	食物科学や農学に関する専門知識・技術を基礎として、果樹・野菜生産や食品製造、資源・環境などの多角的な視点から、人類が直面する食料問題に取り組める人材を養成します。果樹や野菜等の農産物の栽培、食品製造の科学的理解、有用成分の解析と利用を課題として、地場産業であるワイン産業などを具体的な例として、農学と食品製造を包括的にとらえるための教育を行います。また、教育モデルとして「ワイン科学特別コース」を設置し、ブドウ栽培・ワイン製造を専門に研究する国内唯一の研究機関である「ワイン科学研究センター」の歴史と実績を活かして、専門的なワイン製造技術を教育しワイン製造業界で活躍できる人材を養成します。	食品系製造業(食料・飲料・醸造等)/化学系製造業(医薬・化粧品・香料)/農業関係法人(JAなど)農業従事者(栽培・収穫など)/地方公務員/国家公務員/高等学校教員(農業)など	危険物取扱者(甲種)/第一種衛生管理者/作業環境測定士/毒物劇物取扱責任者/山梨大学ワイン科学士/技術士/技術士補/高等学校教諭普通免許状(農業)など ※上記には、実務経験を経て受験資格が得られるもの、一次試験が免除されるもの等を含みます。
環境科学科 (30)	生物資源の持続的な生産を支える土壌、水、大気の保全や生物生産の現場と周囲の生態系との調和を通して、自然と共生した豊かで持続可能な社会の形成に貢献できる人材を養成します。このため、環境にかかわる自然科学の知識を基礎とし、各種のフィールド調査技術、地理情報システムなどの環境情報解析技術、環境影響予測技術、環境保全計画作成などの環境管理技術の修得を目指した実践的な教育を行います。また、自然環境の調査・評価・管理を通じて、安全な生物資源の生産並びに国内外の環境やエネルギー、食料問題等の解決を目指した教育研究を行います。	環境産業(廃水処理・環境分析・コンサルタント・エコビジネス等)/情報産業(情報サービス・IT)/金融業/流通業/生物生産分野/地方公務員/国家公務員/環境NPO/高等学校教員(理科)など	危険物取扱者(甲種)/第一種衛生管理者/作業環境測定士/毒物劇物取扱責任者/公害防止管理者/環境計量士/環境管理士/環境カウンセラー/技術士/技術士補/高等学校教諭普通免許状(理科)など ※上記には、実務経験を経て受験資格が得られるもの、一次試験が免除されるもの等を含みます。
地域社会システム学科 (35)	共生のあり方とそれにかかわる社会の諸制度について理解するとともに、新事業の展開、新商品の開発・生産・流通・販売という一連のプロセスに関する流通経済、企業経営、地域経済、地域行政等の社会科学を総合的に学びます。特に、食品ビジネス、環境ビジネスなど、発展が期待されるビジネス分野での事業創造のあり方についても教育・研究を行います。実態社会の諸課題を認識し解決するための方法論としては、社会科学における定性的な方法だけでなく数理的手法も重視し、個々の対象に対する数理的分析の方法と応用についても学びます。このような学習過程を通じて、諸現象を総合的かつ客観的に分析し提案を提示する能力を涵養します	金融機関/保険業界/商社/製造業/食品産業(フードビジネス)/情報産業(情報サービス・IT)/卸売業/小売業/流通業/マスコミ/調査研究機関/消費生活アドバイザー/地方公務員/国家公務員/高等学校教員(商業)など	中小企業診断士/税理士/販売士/ファイナンシャル・プランナー/証券アナリスト/日商簿記/消費生活アドバイザー/高等学校教諭普通免許状(商業)など

生命環境学部では、実習・演習系の授業を重視し、全学科で生物資源実習を履修します。フィールドワークを通して、作業の楽しさや難しさを体験しながら、学術的な裏付けの必要性を学びます。

また、基礎を重視したカリキュラムによって各分野の問題点や思考方法を多角的に学び、その後、大学院等で必要となる高度な専門分野への連続性を考慮して専門知識を身に付けます。さらに、より広範で複合的な問題へチャレンジするために、他学科の専門科目の履修や、就業体験を行うインターンシップ、学外の専門家による特別講義などのカリキュラムが準備されています。このような教育活動は、全学科の連携に加えて各種公的研究・試験機関との協働を通して実現されます。



医学科および看護学科からなる本学部では、専門的ならびに学術的領域において独創的な研究活動を展開する一方、現代の医療・医学を担う優れた臨床医・看護専門職および、医学・看護学研究者の養成を目指し、医学、生命科学、看護学、医療に関して学習効果の高い教育プログラムを実施しています。各国家試験を突破し、各々が望む道へと進めるよう確かな力を育むとともに、病める人や尊い生命と向き合うに相応しい人格の陶冶にも力を注ぎ、確実な成果を挙げています。

また、地域の中核として先端医療を提供するとともに、学生の臨床実習を行う教育の場でもある本学部附属病院は、病床数606床、高度先進医療を担う特定機能病院の指定を受けた医療水準の高い施設です。

学科(定員) ※平成24年4月の入学生から	主な教育内容	活躍できる分野・進路	取得可能な資格
医学科 (125)	<p>総合教養教育が3年次まで続く反面、医療現場に触れる臨床体験実習を入学後の早い段階で行うなど、6年間一貫教育の理念に基づき、卒業時までには医師に求められる知識や技能、人間性が涵養されるよう、バランスの取れたカリキュラムを実施しています。</p> <p>また、3年次後半に始まる臨床医学では、少人数の学生グループで課題に取り組むチュートリアル教育を導入しています。自分で調べ、学生同士で討論を重ね、解決策を導き出す学習を通じ、医師に不可欠なさまざまな力が、確実に培われていきます。</p>	<p>6年間の医学科での卒前教育を終え、医師国家試験に合格すると、各々の目指す分野での卒後教育に進むこととなります。分野によって多少の違いはありますが、臨床医を目指す場合は一定水準の医療機関に研修医として勤務しながらの初期臨床研修(2年間)が義務づけられています。また、専攻科目によっては認定医や専門医へのコースを進むなど、卒後教育のカリキュラムに沿っての専門的な教育が必要です。</p> <p>基礎医学や社会医学の研究を希望するなら、各大学医学部の研究室や各種研究所に就職する道もあります。</p>	<p>医師国家試験合格状況</p> <p>平成19年 86.7%(91.3%) 平成20年 90.9%(92.8%) 平成21年 95.1%(96.8%) 平成22年 91.2%(90.7%) 平成23年 94.8%(96.5%)</p> <p>※()内は、新卒者の合格率です。</p>
看護学科 (60)	<p>4年間を通して看護に必要な知識と技能を体系的に学べるよう、基礎科目と専門科目を併行して学ぶ「くさび形」カリキュラムを採用しています。</p> <p>なお、1年次には幅広い教養を身につけるため、甲府キャンパスで人文科学系や語学を中心とした全学共通教育科目を履修します。教育人間科学部、工学部、生命環境学部の学生との交流は、視野を広げ、人間関係を学ぶなど、人間性を育む貴重な体験となります。</p>	<p>看護師、保健師、助産師として医療に従事するには、例年2月に実施される各国家試験に合格しなければなりません。本学科では、看護師、保健師、助産師ともに高い合格率を誇っており、ほとんどの学生が自分の希望する資格を手にしています。</p> <p>卒業後は、大部分の学生が、本学附属病院をはじめとする全国の医療機関、各市町村の保健所や保健センター、社会福祉施設などに就職し、看護師、保健師、助産師として勤務しています。一方、さらに研究したい学生には、大学院医学工学総合教育部の看護領域あるいは医学領域へ進学する道も開かれています。</p>	<p>看護師国家試験 98.4%(100%) 保健師国家試験 97.2%(98.5%) 助産師国家試験 100%(100%)</p> <p>※上記は、平成23年2月に実施された各試験の合格率です。()内は、新卒者の合格率です。</p>

医学部では、臨床各科の教員が協力して、質の高い卒前臨床教育の実践に努めるとともに、臨床教育センターを中心に、医学科の卒業生を対象とした2年間の初期臨床研修プログラムの充実にも努め、卒前・卒後を通して優れた医師の養成に全力で取り組んでいます。

将来基礎医学研究や臨床医学研究を志す医学科学生に対し、従来の枠組を越えたシステムで研究者としての早期英才教育を施し、世界の第一線で活躍しうる「世界の人材」を育成することを目的に、平成17年「ライフサイエンス特進コース」を創設しました。このコースは、毎年医学科学生(1年次生)を対象に「特待生」を募集し、大学院講座に受け入れ、在学中を通じて大学院に準じた研究教育を行うものです。そして医学部卒業時には、大学院博士課程修了者に比肩する研究能力と研究業績を有する研究者に育てることを目標としています。

入試に関すること

入試課

☎055-220-8046

教育人間科学部に関すること

教育人間科学部支援課

☎055-220-8103

工学部に関すること

工学部支援課

☎055-220-8403

生命環境学部に関すること

新学部開設準備支援室

☎055-220-8801

医学部に関すること

学務課

☎055-273-6733



「地域周産期等医療学講座」の活動について

地域周産期等医療学講座は、2008年10月に山梨県の寄附講座として山梨大学医学部に開設されました。開設当時、山梨県では、約10年間で分娩を取り扱う医療機関が激減した時期でした。開業医の高齢化や産婦人科志望の研修医の減少による分娩取り扱い医師の不足は、残された産科医の過重労働や長時間勤務を招き、妊産婦の安全をも脅かす状況でした。これに対して、医師を拠点病院へ集中させ効率よく分娩を取り扱い、妊産婦の安全性の確保を図りました。しかし、拠点化した7病院の産科医師の過重労働状態は変わらず、また、妊産婦の利便性や快適性に対して十分な配慮を払えない状況でした。さらに、重症合併症妊娠の搬送などに迅速かつ効率よく対応するための医療機関間の調整が必要となりました。これらの問題点を解決し、周産期医療の確保に関する研究を行うとともに、その成果の普及を行い、山梨県周産期医療の向上に寄与することを目的とし、当講座が山梨県の寄附講座として開設されました。

これまでに当講座が産婦人科学講座と共同して実施してきた主な事業は以下のとおりです。

①山梨県産婦人科医療機関の連携強化のための山梨県分娩取り扱い医療機関産科医療協議会の開催：まず、急務である緊



(写真2) 新生児蘇生講習会Bコース

急母体搬送を迅速に行うため、患者振り分けのフローチャートを作成し、県内の産婦人科医療機関および救急隊へ周知した結果、円滑な緊急搬送が行えるようになりました。

②2011年3月、東日本大震災に対する山梨県被災・避難妊婦支援室の設置：被災や避難した妊産婦の状況の確認や医療機関の紹介などを行い、現在までに約30人の妊産婦さんが利用しています。

③山梨県版セミ・オープンシステムモデル事

業：拠点化・集中化した分娩取り扱い病院の外来業務の緩和のため、分娩を取り扱わない病院での妊婦健診システムの確立を目指すとともに、システムの安全性や医療情報の共有化について検討しています。

④コメディカルとの連携強化のため

の「助産外来」ならびに「院内助産」の開設：助産外来・院内助産を担うための助産師の教育カリキュラムを構築し、県内の助産師を対象に定期的に講義・実習(写真1)を行っています。さらに、到達度判定のための筆記ならびに実技の資格試験を行い担当資格を認定しています。「助産外来」「院内助産」を通して、妊産婦および家族にとって満足度の高い「お産」を目指しています。

⑤産婦人科医の減少に対する産科専攻支援に対する取り組み：研修医ならびに医学生が産科の講演会やセミナーへ参加することにより産科への関心を高め、将来、産婦人科を専攻する人材を育成することを目的に、講演会やセミナーへの参加の奨励や、新生児蘇生講習会(写真2)やALSO Japanプロバイダーコース等を開催をしています。

このように、当講座の活動は目今の医療改善から将来的な人材の育成と多岐にわたっていますが、これまでの活動で一定の成果を挙げてきました。今後も山梨県の周産期医療の発展に寄与すべく、さらに活動を展開していきたいと思っています。



(写真1) 助産外来コース 経腹超音波講習



こんにちは。山梨大学陸上競技部です。我が陸上競技部の部員数は約30人で、毎週火・水・金・土の週4日、甲府キャンパスのグラウンド、緑が丘スポーツ公園陸上競技場、小瀬スポーツ公園陸上競技場(中銀スタジアム)、南アルプス市にある櫛形総合公園陸上競技場を中心に活動しています。大会等の活動については山梨大学ホームページより、サークルブログに随時更新していますので是非そちらをご覧ください。

集合写真は10月15日(土)に行われました「箱根駅伝予選会」に出場した時のものです。箱根駅伝予選会は参加することも非常に困難で、決められている参加標準記録を10人が破らなければ出場が許されません。そのような過酷な条件のもと、なんとか10人が参加標準記録を破り、我が山梨大学陸上競技部は5年振りに出場することができました。メンバーの中には教育人間科学部、工学部に限らず医学部の学生も入っていて、全学部の学生で挑んだものとなりました。

大学の部活動ならではのといえるのが、大学同士が得点を争って勝負する大会である「対校戦」というものがあります。対校戦



は、各種目で各選手が他大学の選手と勝負をし、上位進出により順位に応じた得点が与えられ、それらの得点を合計して大学同士で戦うというものです。そのため、決して1人の力では

戦うことができません。走る・跳ぶ・投げるの各種目において部員全員の力を結集した戦いとなります。

陸上競技は個人種目ではありませんが、「決して1人で戦っているのではない！」

そう感じさせてくれるのが対校戦です。大会の時だけに限らず、日々の練習においても同じことが言えます。もちろん、己の目標や克服すべく課題は各々が持っています。その目標達成のための練習、課題克服のためのプロセスにおいて、1人で黙々と取り組むことも重要ですが、同じ部の仲間、先輩・後輩や同輩と共に切磋琢磨して成長できるのが本部活動の核となっているものなのです。

陸上競技の走る・跳ぶ・投げるを言い換えると…

投げる:自分自身へ常に目標を投げかける!

走る:目標に向かってがむしゃらに走り続ける!

跳ぶ:大会で大きく飛躍し目標達成!

是非、山梨大学陸上競技部への応援の程を宜しくお願い致します。



甲府

〈サークル紹介〉

山梨大学陸上競技部

〈サークル紹介〉

茶道部



こんにちは。山梨大学医学部茶道部です。私達、山梨大学医学部茶道部は今年で創部26年目を迎え、部員計40名でますます盛んに活動しております。部活は毎週土曜日に医学部キャンパスの福利厚生棟一階の和室で活動しております。茶道部というとてもお堅い感じがしてとっつきにくく感じるかもしれませんが、部員みんな仲が良く和気あいあいと活動しています。

では私たち茶道部の活動はどのようなものかという、大きく分けて2つあります。1つは、部員達だけでお茶を点てお菓子などを用意して楽しむお茶会と、もう1つは、お茶の先生をお呼びしてのお稽古があります。お稽古の際には、大学では学べないような『道・学・実』三位一体となった幅広い勉強をさせて頂いております。また、部員だけで行うお茶会にもいろいろ種類がありまして、最初の活動は4月の新入生歓迎茶会です。また、7月には、床に笹を飾って行う七夕茶会や12月にはクリスマス茶会などを行っております。年が明けると床にしだれ柳をかざり、お雑煮やお祝いの一興を用意して新年を祝う初釜の席なども行っています。そして茶道部のメインイベントは医学祭です。部員は全員医学祭でお点前をします。部員の親や先生方までいろいろな人達が来るので、みんな夜遅くまで一所懸命にお点前の練習をします。一所懸命に練習するからこそ医大祭でお点前をしっかりとできた時の達成感はずいぶんいいので、医大祭後、茶道の面白さにはまっていく部員がとても多いです。また、夏休みには部員みんなで八ヶ岳の釜工房でお茶碗作りを行っています。自分たちで一から作るのやはりとても難しいですが、みんな没頭して自分の作品作りを楽しんで

います。

私たちの茶道部の魅力は茶道だけにあるのではなく茶道部員の仲の良さにもあると思います。

部員の飲み会での一言です。「席を決めるの面倒だから、先トイレ行って空いてるところに座ることにするわ」誰の隣になっても気まずいことはなく、誰が隣でも楽しめるという本当に仲の良い

自慢のできる部活なんだと実感しました。

茶道って何が楽しいのだから?古くてダサイ!!など世間の評価は厳しいと思います。私自身、入部するまで茶道など全く興味がなく、入部の動機もおいしいお菓子が食べられるなどという軽いものでした。たぶん部員のほとんどがそうだと思います。しかしそんな人たちでも今は茶道を楽しみ活動しております。

この茶道の魅力は体験しないとわからないものだと思います。

ぜひ皆さんも体験してみてくださいはいかがですか?



close-up people



やりたいことを見つけることができてからは
とても充実した大学生活を過ごしています。

◎教育人間科学部国際共生社会課程 2年生 杉山大介さん



まず、自己紹介を
お願いします!!

初めまして!教育人間科学部国際共生社会課程国際文化コース2年の杉山大介です。出身はお茶と富士山の静岡県です。ONE PIECE とラーメンをこよなく愛する20歳です。このような取材は慣れていないので緊張しています!!

大学や山梨の生活は?

大学で初めて一人暮らしを始め、2年目になりました。掃除や洗濯、料理など…やるが多すぎて親のすごさを実感させられる日々を送っています。大学生活は、とても楽しく充実した毎日を過ごしています。僕は国際文化コースに所属しているため主に英語を学んでいます。物語を読んだり、外国人と会話したりと高校までの文法を覚える授業とは違い、新鮮味ある授業が多いです。また風林火山という野球サークルに入っていて、週に一度野球をしたりスポーツ大会に出たり、学園祭で露店を出したり飲み会をしたりなど、とにかく全てが楽しいです。

休みの日や長期休みは
どうしてる?

僕は、居酒屋と塾講師のバイトをしているのでバイトがあったり友達と遊びに行ったりしています。長期休みは旅行や趣味に充てる時間が多いです。長期休みはあまりバイトしたくないので…。今年の夏はオーストラリアに2ヶ月間英語を学びにホームステイと語学学校に行ってきました。

オーストラリアはどうでした?

オーストラリアの2ヶ月間は今まで味わったことのない充実した日々で、毎日驚くことばかりでした。英語でしか生活できない状況だったので最初は戸惑いましたが、だんだん慣れてきて、外国人とバーベキューをしたり、観光地に行ったり、サーフィンをしたりなど全てが初めてでした。英語の上達もそうですが、それ以上に外国の文化や考え方・価値観の違いに気づかされるとともに、自分が今までいかに狭い世界で生きていたのかを実感しました。これを通してより一層自分

の知識を深め、今後役に立てたいと思う
ようになりました。

後輩に一言お願いします

大学で本当にしたいことを見つけることができれば、大学生活はとても充実していきます。これは難しいと思いますが、見つけようとしていくことが重要です。見つけようと努力すれば、今まで知らなかったことに出会えるので、新しい道が見つかるかもしれません。僕もあまり偉そうなことは言えませんが、自分のやりたいことが見つかったからは本当に充実しています。大学生なので失敗して当然ですので積極的に行動すればするほどより一層楽しくなると思います。最後に、自分のやりたいことに時間とお金を惜しまないで、有意義な大学生活を送ってください。



山梨県中央市若宮29-1ジョイフルプラザ1-E
[電話]055-274-7766(FAX兼用)
[営業時間]10:30~19:00
[定休日]水曜日
[駐車場]有



美味しいものや可愛いものが手に入る、フェアトレードの商品を扱うお店。

みなさんは「フェアトレード」という言葉を知っていますか?最近テレビや雑誌などで取り上げられるようになり、デパートなどでフェアトレードの商品をみたことがあるかもしれません。

「フェアトレード」とは直訳すると「公正な貿易」という意味です。発展途上国の原料や製品を、適正な価格での継続的な購入を通じて、立場の弱い人たちの自立と生活を改善することを目指す取り組みです。フェアトレードで輸入された商品を買うと、環境や生産者の権利を害さないだけでなく、生産者の村で小学校を建てたり、健康管理を向上させたり、識字率を上げたりすることを応援できます。また、途上国の人たちが小額ローンを受けたり、技術を学んだりすることで、自分達の手で魚や家畜を飼ったり、果樹を植えたりして生活を向上させることができるようになります。

そんな素敵なフェアトレードの商品を扱うお店が、医学部キャンパスの目の前にあります。通信販売などがよく知られていると思いますが、店舗として運営しているのは全国的にも数が少なく、貴重なお店です。以前は「エコリカーショップ」という名前でしたが、2011年10月8日に「ぱるはび」と名前を変えて、リニューアルオープンしました。店内には、現地の方々が作った羊毛100%のレッグウォーマーややぎ皮のペンケースなど、可愛い手工芸品がたくさん並んでいます。中でもおすすめなのは、バラエティー豊富なチョコレート。現地の子供たちが頑張って収穫した材料でできていて、ココアバター

100%。乳化剤は一切加えず、最大3日間練って作られます。世界の貧困問題に関心がある人もそうでない人も、この機会に「ぱるはび」でお買い物してみたいかがでしょうか。美味しいものや可愛いものが手に入って、途上国に貢献もできる。一石二鳥です!



可愛い手工芸品コーナー



種類もいろいろ揃ったチョコレートコーナー



花が置かれてた可愛い入口



山梨県甲府市武田2-7-10
[電話]055-287-7924
[営業時間]11:00~18:00
[定休日]木曜日
[駐車場]有



『作り手の顔が見えるもの』が並んだ、温かさを感じる素敵な空間。

山手通りを東に向かって歩いて行くと、白いシンプルなおしゃれな雑貨屋さんがあります。二年前にオープンした、うつわと雑貨のおみせkanonです。

店内は、白を基調としたシンプルで素朴な温かさを感じる、とても素敵な空間です。おしゃれなBGMが控えめに流れる静かな店内では、ゆっ

たりとした時間が流れていて、一つ一つ雑貨を手にとりてずっと眺めていたくなります。

お店に並ぶのは、うつわやかご、ルームシューズ、本、無農薬のお茶などさまざま。どれも素材にこだわった、手作りのものばかりです。Kanonの雑貨のコンセプトは、『作り手の顔が見えるもの』。そんな選



シンプルでおしゃれな店内



かごやバッグは人気商品



ギフトコーナーもあります

び抜かれた雑貨が並ぶ店内から、オーナーさんのこだわりが伝わってきます。毎日の暮らしの中に取り入れたいくなる、シンプルで温かい雑貨たちが並びKanone. お気に入りの一品を探しに、訪れてみてはいかがでしょう。

平成23年度大学祭を
開催



学生有志で修復した「大漁旗」

10月29日、30日の両日、医学部キャンパスにおいて「第10回医学祭」が開催されました。荒木教授による講演会「放射線を正しく理解する～福島



医学展「AED 体験コーナー」の様子

原発事故の影響～」や医学展、看護展が開催され、キャンパス内では、多数の来場者がサークルの模擬店や、バンド演奏等を楽しんでいました。

また、11月4日から6日には、甲府キャンパスにおいて「第9回梨甲祭」が開催されました。1日目は、恒例の仮装パレード、2日目及び3日目は、各研究室や

サークルの展示、模擬店や芸能人ステージなど、いずれも大盛況でした。

今回は、東日本大震災の津波で流され破損した「大漁旗」を学生有志で修復して飾り、寄せ書きも募りました。この大漁旗と寄せ書きは、宮城県の被災地に後日届けられました。

今回から、大学のシンボルマークをモチーフにしたマスコットキャラクター「まーくん」が登場し、梨甲祭を盛り上げていました。

マスコットキャラクター「まーくん」



募集要項の請求方法など(入試課)
受験生の皆様へ

平成24年度山梨大学一般入試

募集人員:

学 部	募集人員	前期日程	後期日程
教育人間科学部	86人	32人	32人
医 学 部	35人	85人	
工 学 部	212人	46人	
生命環境学部	110人	20人	

出願期間:平成24年1月23日(月)～2月1日(水)
試験日程:(前期日程)平成24年2月25日(土)、26日(日) (後期日程)平成24年3月12日(月) 平成24年3月14日(水)(看護学科)
合格発表:(前期日程)平成24年3月6日(火) (後期日程)平成24年3月21日(水)

募集要項の入手方法:

- ①大学ホームページから請求する場合……(「入試情報」→「募集要項/入手方法」)
- ②テレメールで請求する場合

1. 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

●自動音声応答電話の場合

IP電話 050-8601-0101

※IP電話:一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分間毎に約11円です。

●携帯電話・PCのインターネットの場合

http://telemail.jp 携帯電話(モード・EZweb・Yahoo!ケータイ)、パソコンとも共通です。

2. 希望する資料番号(6桁)をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料番号	送 料	郵送開始日
大学案内	563350	390円	配布中
一般入試学生募集要項	583350	580円	12月上旬
一般入試学生募集要項+大学案内	543350	580円	12月上旬

3. あとは、ガイドランスに従って登録してください。

③モバっちよで請求する場合

●携帯電話・PCのインターネットの場合 http://djc-mb.jp/yamanashi/

なお、詳細は、下記大学ホームページ(入試情報)をご覧ください。

(URL: http://www.yamanashi.ac.jp/modules/admission_top/)



<入試に関するお問い合わせ先>

山梨大学教学支援部入試課

TEL : 055-220-8046

E-mail :

nyushi@yamanashi.ac.jp

編集後記

「Vine」15号をお届けいたします。いつの間にか季節も変わり、武田通りの景色はすっかり冬のものに変わりました。学内でも、授業に行く時にはイチョウの葉や銀杏を踏みしめています。学生たちも試験や卒論・修論の準備に追われています。

2011年は、大震災で始まり、辛い日々が続きました。

そんな中で、山梨大学では明るいニュースもありました。

今年の特集で取り上げましたように、来年の4月から新しい学部(生命環境学部)が加わり、4学部構成の大学になります。各学部ではそれぞれに特色を出し、組織、カリキュラム、授業を見直し、新しい学生を迎える準備をしています。これを機により良い大学・学部になるよう努めています。毎日追われるように過ごしていることは例年と変わりませんが、期待を胸に日々を送っています。

それでは、良いお年を。

広報誌専門委員会委員長 武藤秀夫



表紙作品の紹介

アートプロジェクト名:
ウォール・アート・プロジェクト
2011「レインボー・ライブラリー」

(山梨大学教育人間科学部美術教育専修・芸術運営コースの学生有志と山梨県民によるプロジェクト)
場所: 新山梨県立図書館建設工事現場(JR甲府駅北口)

山梨大学広報「ヴァイン」December 2011 vol.15

発行者:山梨大学広報誌専門委員会

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務・広報課広報グループ

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8024

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。